

2022
秋
号



さくら福祉会

おはぎ

春彼岸に作られる「ぼたもち」と秋彼岸に作られる「おはぎ」、それぞれが花に由来した名称であり、季節によって呼び名が変わります。古来、あずきの赤色には魔除けの力があると考えられており、そのあずきと五穀豊穡の象徴である米を合わせた食べ物として「ぼたもち」「おはぎ」をご先祖様にお供えしていたという一説があります。

うるち米ともち米の両方で作るのが一般的ですが、もち米の代わりに長芋を使用すると粘り気を抑えることができ、歯切れのよい食感となります。施設のご利用者様にも人気のメニューなので、食べやすい大きさに成形し、味にも変化を付けながら提供しています。

◆作り方◆

- ① 米は研いで浸水し、炊飯器の目盛り通りに水を加える
- ② 長芋は皮を剥き一口大に切り、①の上に置いて炊飯する
- ③ 炊き上がったら、熱いうちに潰す
- ④ 食べやすい大きさに丸め、お好みの具材で包んで完成

材料(約2名分)

- ・米 1合
- ・長芋 60g
- ・お好みの具材
(あんこ・ずんだ・納豆など)
..... 適量

令和3年度 社会福祉法人 さくら福祉会 決算書

資金収支計算書 (単位:千円)

(自) 令和3年4月1日
(至) 令和4年3月31日

勘定科目	金額
事業活動収入計	4,245,355
事業活動支出計	3,803,128
事業活動資金収支差額	442,227
施設整備等収入計	65,842
施設整備等支出計	230,697
施設整備等資金収支差額	△164,854
その他の活動収入計	17,944
その他の活動支出計	148,872
その他の活動資金収支差額	△130,928
当期資金収支差額合計	146,444
前期末支払資金残高	1,164,639
当期末支払資金残高	1,311,084

事業活動計算書 (単位:千円)

(自) 令和3年4月1日
(至) 令和4年3月31日

勘定科目	金額
サービス活動収益計	4,216,782
サービス活動費用計	4,053,046
サービス活動増減差額	163,735
サービス活動外収益計	31,750
サービス活動外費用計	43,265
サービス活動外増減差額	△11,515
経常増減差額	152,220
特別収益計	9,464
特別費用計	42,995
特別増減差額	△33,530
当期活動増減差額	118,689
前期繰越活動増減差額	3,238,267
当期末繰越活動増減差額	3,356,956
次期繰越活動増減差額	3,356,956

貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,620,582	流動負債	701,476
固定資産	5,877,020	固定負債	1,803,941
基本財産	5,050,336	負債の部合計	2,505,417
その他の固定資産	826,684	純資産の部	
		基本金	68,946
		国庫補助金等特別積立金	1,335,282
		その他の積立金	231,000
		次期繰越活動増減差額	3,356,956
		純資産の部合計	4,992,185
資産の部合計	7,497,603	負債及び純資産の部合計	7,497,603

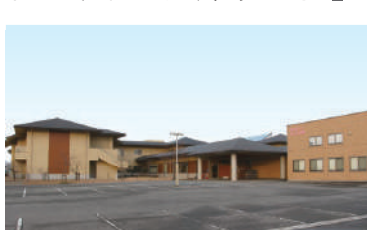
この年から行事の多い時期となります。感染対策に努めながら、ご利用者様が四季を感じて笑顔で過ごされるよう、工夫していきたいところです。季節の変わり目、体調を崩しやすいかもしれませんが、ご利用者様はもちろん、職員自身も体調管理により一層留意して、日々の生活にお力添えしていければと思います。



特別養護老人ホーム さくらホーム

〒999-6851 山形県酒田市中牧田字丸福171
TEL.0234-62-2941

木の葉が色づき、朝晩肌寒さを感じる季節となりました。広報さくら秋号をご覧頂きありがとうございます。夏から長い期間、感染症が全国的に増えて対策に迫られる日々が続きました。皆様が安心して過ごせる日が来ることを願うばかりです。



特別養護老人ホーム さくらホーム広野

〒998-0125 山形県酒田市広野字末広102-1
TEL.0234-91-1233

あとがき

施設見学及び様々な相談にも対応します。お気軽にご相談ください。



スタッフ募集中

- ★金品・物品寄贈(順不同)
- 寺岡 久之 様
- 阿部 裕美 様
- 土里夢の会 様
- ★体験学習[実習]
- 山形県立米沢栄養大学 様

令和4年5月〜令和4年10月

ありがとうございました



特別養護老人ホーム さくらホーム山形

〒990-0885 山形県山形市嶋北3-14-24
TEL.023-674-7303



特別養護老人ホーム さくらホーム天童

〒994-0083 山形県天童市芳賀タウン南4-8-3
TEL.023-651-8733



社会福祉法人 さくら福祉会

〒999-6851 山形県酒田市中牧田字丸福171番地 TEL.0234-62-2941 FAX.0234-61-4016
http://www.sakura-welfare.jp/ E-mail@sakurahome-soudan@sakura-welfare.jp

発行日/令和4年10月22日

さくらホーム 居宅介護支援事業所

私達は、ご利用者様やそのご家族様等の声に寄り添い、介護が必要になっても可能な限り居宅で安心して暮らすことができるよう、介護保険制度はもちろん、介護保険外のサービスも組み合わせてご提案しています。サービス事業所との調整や連絡はもちろん、病院や医療スタッフ、行政との相談等、状況に合わせて様々な方面への架け橋となる暮らしの窓口です。是非お気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL.0234-25-6636



居宅介護支援事業所 さくらホーム山形

居宅介護支援事業所さくらホーム山形では、地域の皆様が、いつでも安心して暮らしていけるよう、お手伝いさせていただきます。要介護者・要支援者の方やそのご家族様からのご相談に応じて、市町村や医療機関、サービス事業所等との連絡調整を行い、その方に合った適切な介護サービスをご利用頂けるようご支援いたします。介護についてひとりで悩まず、是非お気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL.023-674-6510



酒田市地域包括支援 センターまつやま

酒田市地域包括支援センターまつやまでは、地域で暮らす高齢者の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らしていけるように、介護、福祉、医療など、様々な方面から高齢者やそのご家族様を支えています。毎日の暮らしの中で、ご本人、ご家族様、地域の方やケアマネジャーなどから受けた様々な相談を適切な機関と連携して解決に努めています。是非、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL.0234-61-4033



現在はコロナ禍で、面会が出来ない状態が続いています。ご家族様にご利用者様も不安な日々が続きますが、少しでも安心して過ごせるように、日々の状態変化に速やかに対応していきたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、他職種と連携しながら、最期までその人らしく笑顔で過ごせるようお手伝いさせて頂きたいと思いま

育児休暇を経て昨年の12月からさくらホームの生活相談員として勤務しております。育児休暇前は介護予防センターさくら東泉で生活相談員として勤務しておりました。私の現在の業務内容としては、入所相談、入所時・ショートステイ利用時の契約、ご家族様への連絡相談、他機関・行政との連絡調整、請求業務等があります。仕事上事務所にいる時が多いのですが、ショートステイの送迎や食事介助等でもご利用者様と関わった時はとても元気を貰っています。また、介護予防センター勤務の時は経験出来なかった、お看取りについて対応させて頂くこともあり、ご家族様にご利用者様に寄り添った支援について考える日々です。

スタッフからの 情報発信

特別養護老人ホーム
さくらホーム
生活相談員
齋藤 奈々

す。今後ともどうぞよろしくお願
い致します。



特別養護老人ホーム

さくらホーム山形



皆様には、さくらホーム山形の運営につきまして特段の御支援・御協力を賜り心から感謝申し上げます。コロナ禍の三度目の秋となりました。本来なら実りの秋、祭り等各種の楽しいイベントが目白押しの時季ですが、予断を許さない状況が続いています。当初からコロナウイルスは変異を繰り返す度に弱毒化する反面、感染力が強くなると云われておりました。県内でも老人保健施設、幼児保育施設、学校教育現場等でクラスター発生が毎日のように報告されております。第七波の主たる発生源が家庭内にあり日常生活と密接不可分の職場であり、私達スタッフにとっても感染を防ぐのは大変難しい課題です。一日も早い終息を願っております。

流行も懸念されております。ご家族の皆様には大変御不便をおかけしますが、ご利用者様との面会は従来通りの取り扱いとさせていただきます。施設内の年間行事の芋煮会・敬老会等は、規模を縮小し感染対策に配慮したユニット単位での開催とさせていただきます。今後もハロウィン・クリスマス等、従来以上に趣向を凝らし実施したいと思っております。また、安全・安心な居住空間の確保のため、更に感染予防に努めます。

一日も早く従前のご利用者様とご家族様の交流憩いの場として楽しんで頂けるよう職員一同精進してまいります。異常気象をはじめ何かと社会不安が続く多事多難な状況ですが、皆様も是非健康に留意され御健勝にて日々の生活を過ごして頂きますよう御多幸を祈念申し上げます。

秋冬年末にかけてコロナウイルス第八波の可能性やインフルエンザの



介護予防センター

さくら山形



皆様には、日頃より当事業所の運営に關し、ご支援・協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

今年度に入り、ご利用者様に新型コロナウイルス感染者が発生したこと、管轄の保健所とも相談させて頂き、合計8日間営業休止の措置を取らせて頂きました。幸い、ご利用者様、職員共に感染が広がることなく営業再開することができましたが、ご利用者様ご家族様には多大なご迷惑をお掛けし、大変申し訳ございませんでした。今後、ご利用者様の安心・安全を第一に考え、感染症対策に努めていきたいと思っております。

現在、コロナ感染予防対策として、外出レクリエーションやボランティア招待など実施ができない状況が続いておりますが、9月は敬老の日の19日から



一週間を『敬老WEEK』と題してイベントを行いました。敬老の日は、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを目的として、昭和23年（1948年）に祝日法として制定されたことです。当事業所でも、ご利用者様のご長寿の祝いと日頃の感謝を込めて、敬老会を開催しました。皆様に楽しんで頂ければと、職員より歌や踊りの催し物を披露させて頂きました。ご利用者様から楽しかったという声が聞かれ、職員一同ひと安心しているところです。

今後、介護予防センターさくら山形のご利用を楽しみにして頂けるように、職員一同努めていきたいと思っております。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

さくらホーム広野



皆様には、日頃より施設運営に関し、ご支援ご協力を賜り大変感謝を申し上げます。

今年度に入り、5月と8月には、コロナウイルス感染が発生し、ご利用者様、ご家族様、関係機関の皆様には、大変ご心配とご迷惑をおかけしました。日常生活の中での楽しみの一つである他者とのふれあいも少なくなり、予定していた行事を中止せざるを得なくなっていました。

面会制限も継続中ではありますが、日頃から、体調管理、手指消毒、換気、3密回避を徹底し、ご利用者様の生活が安心、安全に送れますように支援していきたいと思えます。

今年度も人材確保という観点から、中国からの技能実習生を4名受け入れしています。日本語、生活様式、文化の違いに戸惑いながらも、日々の現場実習や日本語勉強に励んでいるところです。



敬老の日には、寿賀対象者が6名おり、寿賀贈呈と記念撮影を行いました。最高齢のご利用者様は、106歳になりました。笑顔が素敵な方で、私たち職員を和ませてくれます。

9月には、夜間想定避難訓練を実施しました。通報訓練、誘導訓練、消火訓練を行い、一つ一つ行動を確認しながら、非常時、災害時に備えたいと思えます。

設備関係では、エアコンの老朽化が進み、6月にショートユニットのエアコンを入れ替えました。10月からは特養ユニットもエアコン改修工事が始まります。入所されている方々には、ご不便をおかけいたしますが、快適な空間、環境で過ごして頂くため、ご協力をお願いしています。今後、ご利用者様の笑顔を引き出し、楽しく、生活が送れるように支援していきたいと思えます。

さくら広野



日頃より施設の運営にあたり、多大なご支援を賜り感謝申し上げます。今年度も早いもので半年が経過しましたが、特に8月から続く新型コロナウイルス第七波の影響は大きく、健康管理に神経を使う日々が続いております。皆様のお力添えもあり、幸いここまで大きなトラブルなく営業できておりますが、今後も気を緩めることなく感染予防対策を講じていきます。引き続き対応への協力をお願い申し上げます。

なお、6月には保健所より機材をお借りし、ご利用者様と一緒に手洗い講習を行いました。丁寧に洗ったつもりでも、いざライトを照射すると、爪の根本や指先のしわ、親指の付け根に集中して汚れが溜まっており、職員共々、驚きをもって再確認することができました。親指・手首のねじり洗いはついつい疎かになりがち

なだけに、普段当たり前に行っている手洗いの手順を見直すよい機会になったかと思えます。

さて、依然外出行事やボランティア招待が実施できない等、不自由を伴う状況が続いておりますが、その分、定例会議では皆で知恵を絞り合い、バラエティに富んだレクリエーションの提供を目指しました。肝は「マンネリにならず、季節感を感じられるもの」であること。カーネーションのブローチ作りや夏野菜・草花の園芸レク、また一から素材を組み立てた手製のワニワニパニックゲームなど、いずれも和気あいあいとした雰囲気のもと楽しんで頂くことができました。今後、秋冬の企画にもぜひご期待ください。

皆様のご来所を心よりお待ちしております。



特別養護老人ホーム

さくらホーム



皆様には、日頃よりさくらホームの運営に関し、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

暑さも和らぎ、黄金色に色付いた稲穂が一面に広がり、稲刈りの時期を迎えました。同時に、今年も残すところ2ヶ月余りとなり、時の流れの速さを感じるところです。未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症につきましては、3年目という長丁場となり、ご家族様及び関係機関の皆様には、なかなかご利用者様との面会ができない状況が続く、大変ご迷惑をおかけしております。感染が落ち着き、思う存分面会して頂く日が来ることを願うばかりです。ご利用者様及び職員は、4回目のワクチン接種がほぼ終了しておりますが、引き続き感染予防を徹底し、安全

に過ごして頂けるよう努めていきます。

施設では、行事を規模縮小して開催しております。夏祭りでは、すいか割りや宝釣りゲーム、昼食時は、焼き鳥や枝豆等も振舞われ、夏気分を味わい、敬老会では、100歳を超えるご長寿2名、白寿1名、米寿4名の方々のお祝いと共に、皆様へ感謝状をお渡しする等、職員との楽しい時間を過ごすことができ、ご利用者様の沢山の笑顔と、感動の涙を拝見することができました。

ご利用者様の笑顔が、私たち職員にとって何よりの原動力となっております。今後も皆様の沢山の笑顔を見られますよう、職員一同精一杯のお手伝いをさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



特別養護老人ホーム

さくらホーム天童



夏が過ぎ去り秋の涼しさを感じる季節となりました。常日頃より私共さくらホーム天童へのご支援、ご協力を賜り大変感謝申し上げます。

新型コロナウイルスは山形県内においても連日多くの新規感染者が確認されるなど依然と猛威を振るう状況が続いております。さくらホーム天童では出勤時の体温測定や消毒の実施、ご利用者様の生活範囲の衛生管理の徹底など安全にそして安心して生活して頂けるよう日々努めております。ご家族様を始め関係者の皆様には引き続き感染拡大防止の観点よりご利用者様との面会の制限を継続させて頂きます事をご了承下さい。

た行事食に舌鼓を打たれております。敬老会では傘寿の方が4名、米寿の方が6名、白寿の方が3名、百寿の方が1名、そして百歳以上の方が2名いらっしゃいました。賀寿表彰・花束を贈呈し、ささやかながらお祝いをさせて頂きました。感染拡大防止の為、ご家族様を招いての開催を見送らせて頂きましたが、来年度は感染も収束しご家族様と一緒に開催できる事を願っております。

さて、さくらホーム天童では感染拡大防止に十分に配慮し規模を縮小してフロア毎で季節の行事を催しました。七夕では「おいしい物が食べたい」「元氣になって歩きたい」など願いを込めて作成した短冊を笹に飾り付け、そうめんや天ぷら等を盛り付け

日毎に秋が深まり、インフルエンザの流行も懸念される時期となります。引き続きご利用者様の事を第一に考え、安心安全に充実した日々を送って頂けるような質の高いサービスを提供し続けていくため、職員一同日々業務に邁進してまいります。今後もさくらホーム天童に対し益々のご支援とご協力をお願いするとともに、より一層のご指導・ご鞭撻の程お願いいたします。

